令和４年度鶴見区区政会議　第２回防災・防犯部会　会議要旨

１　日時　　令和４年 11 月 24 日（木）　午後７時 00 分から午後８時 46 分

２　場所　　鶴見区役所　４階　403・404 会議室

３　出席者

（委員）

島崎部会長、鎮西（章）副部会長、小倉委員、黒澤委員、西山委員

（鶴見区役所）

中村市民協働課長、木村総務課政策推進担当課長代理兼市民協働課長代理、大川市民協働課長代理、更家市民協働課担当係長、土井市民協働課担当係長、蓮元市民協働課担当係長

４　議題

(1) 鶴見区将来ビジョン（素案）について

(2) 令和5年度鶴見区運営方針（素案）について

５　議事要旨

(1) 鶴見区将来ビジョン（素案）について

事務局から、「鶴見区将来ビジョン（素案）」（資料1）に関する説明を行った。委員からの意見等は特段なく、素案のとおり了承された。

(2) 令和5年度鶴見区運営方針（素案）について

事務局から、「令和5年度鶴見区運営方針（素案）」（資料2）に関する説明を行い、委員からの意見等及び事務局からの回答の概要は次のとおり。

・　具体的取組2－1－2について、成果指標（単年度）では「地域が行う訓練の参加者で『役立った』と回答した区民の割合」と設定しているが、毎回同じ訓練をしていることから、「役に立った」ではなく、より難易度の高い指標を設定すべきではないか。

⇨　防災訓練は、災害発生時において、地域住民自らがスムーズに応急対応ができるようになることを目的に実施しており、そのため、自助の行動を体で覚えられように、繰り返し、同じ訓練を行っています。指標の設定については、事業目的等を踏まえ、改めて検討いたします。

・　多くの成果指標では「区民アンケート」結果を用いているが、当該アンケートの概要を説明いただきたい。

⇨　無作為に抽出した区民（2,000 人）を対象に毎年実施しているものです。回答率は概ね 50％程度であり、回収率の向上が課題と考えています。

・　回答率が 50％程度であるならば、アンケート対象者数を現在の 2,000 人から増やすことを検討されないのか。

⇨　対象者数を増やすことにより、予算額が増大することから、まずは回収率の向上に関する取組みを優先的に行っています。

・　アンケート結果について、年齢又は年代別に分析することによって、課題が浮き彫りになることもあることから、別途提供いただきたい。

・　区民アンケート結果では、町会加入率を把握されているのか。

⇨　区民アンケートでは調査しておりませんが、別の調査にて加入率を把握しております。

・　具体的取組2－2－2の「自転車マナーアップキャンペーン」について、さまざまな取組みを行っているかと思われるが、子どもや一部の大人を含め、多くの方は自転車運転に係る基本的なルールを理解していないと思われることから、基礎的な内容に関する講習を行ってみてはどうか。

⇨　自転車マナーアップキャンペーンのプログラムの一つに取り入れるかを検討いたします。

・　具体的取組2－2－1の「防犯カメラの取替」について、取り替えた防犯カメラの管理は区役所にて行っているが、警察とは連携されているのか。

⇨　鶴見警察等からの捜査事項照会として、特定の防犯カメラの映像の提供を求められるときがあります。

・　地域にて管理している防犯カメラもあるが、同じように警察から防犯カメラの映像の提供を求められた場合、どのように判断すればよいのか。

⇨　地域と区役所の対応が異なることは適切とはいえないことから、警察から地域へ依頼文書が提出された場合、防犯カメラの映像を警察へ提供いただいても問題ありません。

・　区広報紙は多くの方が目にする媒体であることから、防災リーダーに関する特集号を組んでいただけると関心が高まるものと思われるのでお願いしたい。

6　会議資料

(1) 次第

(2) 鶴見区将来ビジョン（素案）（資料1）

(3) 令和5年度鶴見区運営方針（素案）（資料2）

(4) 運営方針制度の見直しについて（机上配付資料）